

DRAGON COMICS

神聖龍ヴァグランツ1・2 VAGRANTS  
●STORY 池田謙司 ●ART 渡辺明彦

ザナドゥ1 XANADU  
●STORY 渡辺明彦 ●ART 渡辺明彦

帝都物語 BABYLON TOKYO  
●ORIGINAL 宮城忠 ●COMIC 渡辺明彦

帝都物語 TOKYO WARS  
●ORIGINAL 宮城忠 ●COMIC 渡辺明彦

ロマンシア ROMANCIA  
●STORY 渡辺明彦 ●COMIC 渡辺明彦

超新世 モンスターロード MONSTER LOAD  
●COMIC 渡辺明彦

ルーンワース1・2 RUNE WORTH  
●COMIC 渡辺明彦

機軸転記 摩陀羅 MADARA  
●COMIC 田中洋一  
1 企画編  
2 制作編  
3 宣伝編  
4 雑誌編  
5 絵で読みかき  
6 読みかきの手帳  
7 読みかきの手帳

悠久の風伝説1・2・3 ファイナルファンタジーIIIより  
●STORY 寺田憲史 ●COMIC 衣谷遊

ジャンクパーティ1 JUNK PARTY  
●COMIC 渡辺明彦

公認摩陀羅画集本1・2 MADARA OFFICIAL FAN BOOK  
●ORIGINAL 田中洋一 with MADARA PROJECT  
●PRODUCE 大塚英志



悠久の風伝説

ファイナルファンタジーIIIより

3

寺田憲史  
衣谷遊  
©1998スクウェア  
DC-9-3  
角川書店

# 悠久の風伝説

3

ファイナルファンタジーIIIより

●原作 寺田憲史  
●作画 衣谷遊

©1998スクウェア



DRAGON COMICS

ISBN4-04-926037-9 C0379 P950E 定価950円(本体922円) 角川書店



# 悠久の風伝説

ファイナル  
ファンタジーIIIより

3

寺田憲史  
衣谷遊

DC-9-3  
角川書店

# 悠久の風伝説

ファイナルファンタジーIIIより

















うわアッ!!

GAAAAA

かッ



オオオ

オ

オ

おのれえ!!

このハインの召喚魔塔に  
割り込むとは!!

何者だ!?

風が...

俺たちの風が!!

魔人に  
働きかけてくれて  
いるんだ!!

魔界の呪祖に  
打ち勝てるぞと思うかア!!

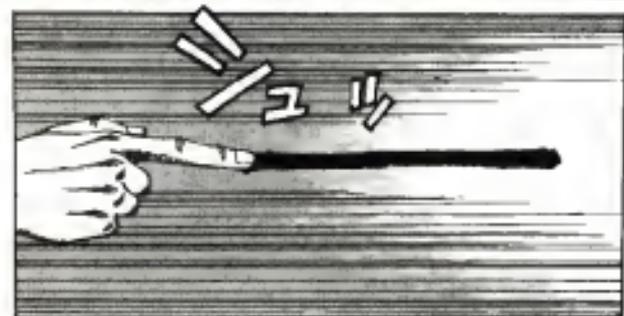
キ  
ラ  
ッ



カタあ  
つけようぜ

イフリート  
さんよォ!!









そうか  
イフリート…

古代人の怨い<sup>こころ</sup>を<sup>おこ</sup>のせた  
風の<sup>かぜ</sup>声<sup>こゑ</sup>が…  
お前の<sup>おまえ</sup>勇者<sup>ゆうしゃ</sup>の<sup>こゝろ</sup>心<sup>こゝろ</sup>に  
響<sup>こた</sup>いたんだな…



何ッ!?



イフリート

GUA AAAA



魔界から召喚された魔人には  
主人に逆らうという手段を一切封じられていた  
…それゆえに主人の命に背くこと  
それはすなわち  
死をもって償わねばならなかった…









てめェは  
魔界の連中以下  
だぜ  
ゲス野郎!!

魔人<sup>まにん</sup>に聞こえる  
風<sup>かぜ</sup>の聲<sup>こゑ</sup>が  
てめェにや  
聞こえねェのか!!





なめるな!!  
なめるなよ  
小僧!!

このハインの  
真の力を見た時!  
きさまの命  
すでに無きものと  
疑え!!

ぬおおお  
おおおお

うわあッ!!

ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ

イフリート!?

UGA

AAA  
AAA

ゴッ  
ゴッ





イ…イフリースの  
身体が…!?  
ハインめ  
何をする気だ!!



召喚魔術奏具…

魔界現身!!





ああ…  
あ…あッ!!



ぬおおお  
ああああ



ばっ…  
ばけものめ!!



くっくっ… たった今  
レヴューセイフリースは  
このハインの中に  
収められた…

もはや私に  
逆らうことは  
不可能になったのだ

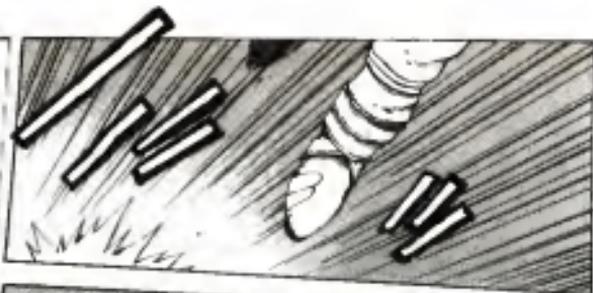
—てエことは…  
やつらの能力も  
手に入れたってこった  
ろうなやっぱし…  
へっ……



くっくっくっ…  
魔界で地獄  
呪われた形力よ  
この私にひざまずけ

すべては我らが  
師の臨終のご意志  
…再び世界を  
狂おしい光あふるるものに  
してはならぬで……  
ふふふはははは  
……

ふざけるなよ……  
こっちはその光を  
取り戻すために  
ここまで来たんだぜ

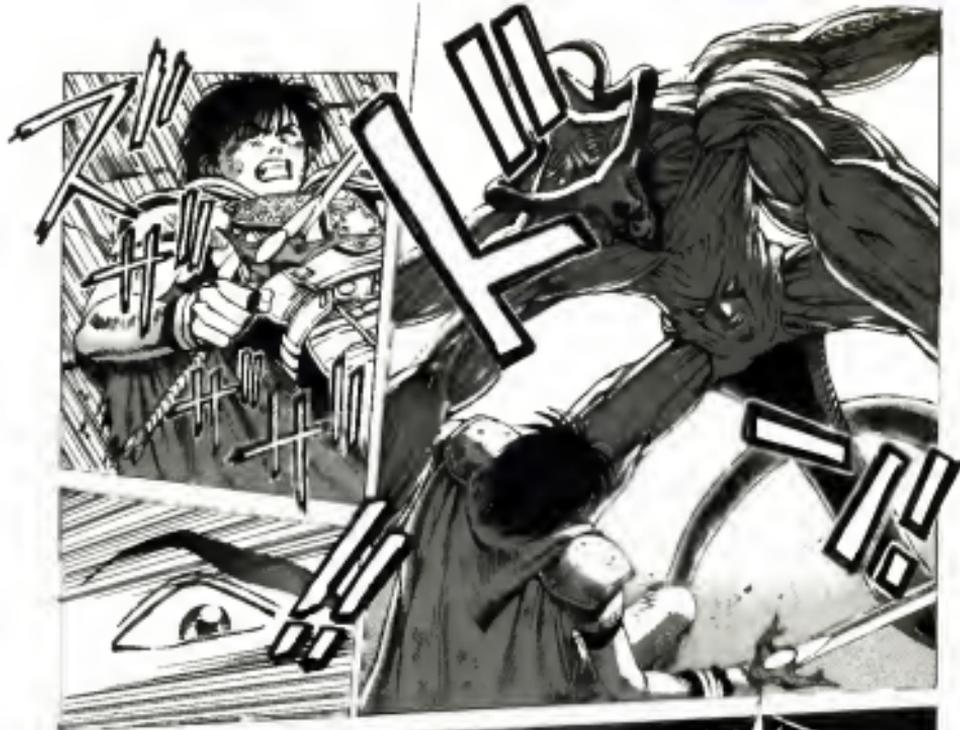


でやああ  
あああッ



















う……  
うラッ…



ち…き  
しょう…ッ



あ…  
あきらめる  
もんか!!

まっ  
っ!



くっくっく…  
このハインを  
ここまで強いつめる  
とは……

ほめてやる…  
ほめてやるぞ  
小僧!

その祖性に  
免じて…

地球に妖魔の世界へ  
加わる光栄を  
与えてやろうでは  
ないか!!

な…

何いッ!?

ぐははははは  
ははは!

ふはははは  
はははは!!

うッ!!





おお…  
お…



うわあ!!



あ…あ







おあああああ

あ

とっくくく

この程度の  
精神攻撃で  
参ってしまうとは…

少し鬱いかぶり  
過ぎたかも  
しれないな……

ピクピク

ヒキキキ



風の谷ウルにて、  
生を授かりし若よ  
聞け…

そなたの強き魂  
冥府と迷いし魔人  
呼び覚ませし…



〈畏なる力〉をもって  
そなたに  
頼るものなり…



畏なる……力  
……？

〈畏〉…すなわち  
この世界の  
成り立ちなり！



わからぬエ  
……それに

これ以上  
この俺に何が  
……



そなたの強き魂  
冥府さ迷いし魔人  
呼びませし……



(異なる力)をもって  
そなたに報いる  
ものなり……

ゴリ  
ゴリ



シヴァア…  
イフリート!

この時ムウチは(風)が2人の魔人を  
動かしたのだと思ったのだが、  
すぐにそうではないことに気づいた…  
2人の魔人は自らの意志でムウチに  
助方しようとしていたのだ!!

そうか  
そういう  
ことか…





グオオオ  
オオオー



シヴァ!  
イフリート!  
おのれとエ  
えええ!!



はあ

早いとこ  
やっちなわねと  
……こっこの体が  
もたねな…

はあ

はあ



古代人の怒り…  
イフリートとシザの  
怒り…  
俺と…俺の仲間たち  
の怒り……

全ての怒りをしっかりと  
受けとめやがれ！



うおおおおお



くぎゃああ  
ああああ







ああ

あ

あ

シヴァの家が  
溶けて…すげえ  
勢いで落ちて  
やがる…!

ちえッ…もう  
泳ぐ方も…  
…腐ってぬエヤ  
……





シヴァ…  
イフリート…  
世話になったな  
……

何だよ…  
行っちゃうのか  
……



うわああああ  
あああッ!!











感じるの…

あの時……

——生きてる樹が  
私を解放してくれた時  
のように……

彼らがデッシュに  
何かを知らせようと  
しているような……

——そんな  
感じがするのよ！



あ… あの  
胸の白い粉が  
デッシュを  
包み込んだ  
ぜえ!!













な...

何なんだ  
こりゃ...

もっ…  
森の真下に  
……

ゴ!  
ゴ!

お…  
俺たちって  
…

ゴ!

い…  
いったい……

海が!?

ゴ!  
ゴ!

どこに  
……  
いるんだア  
……!?



!?

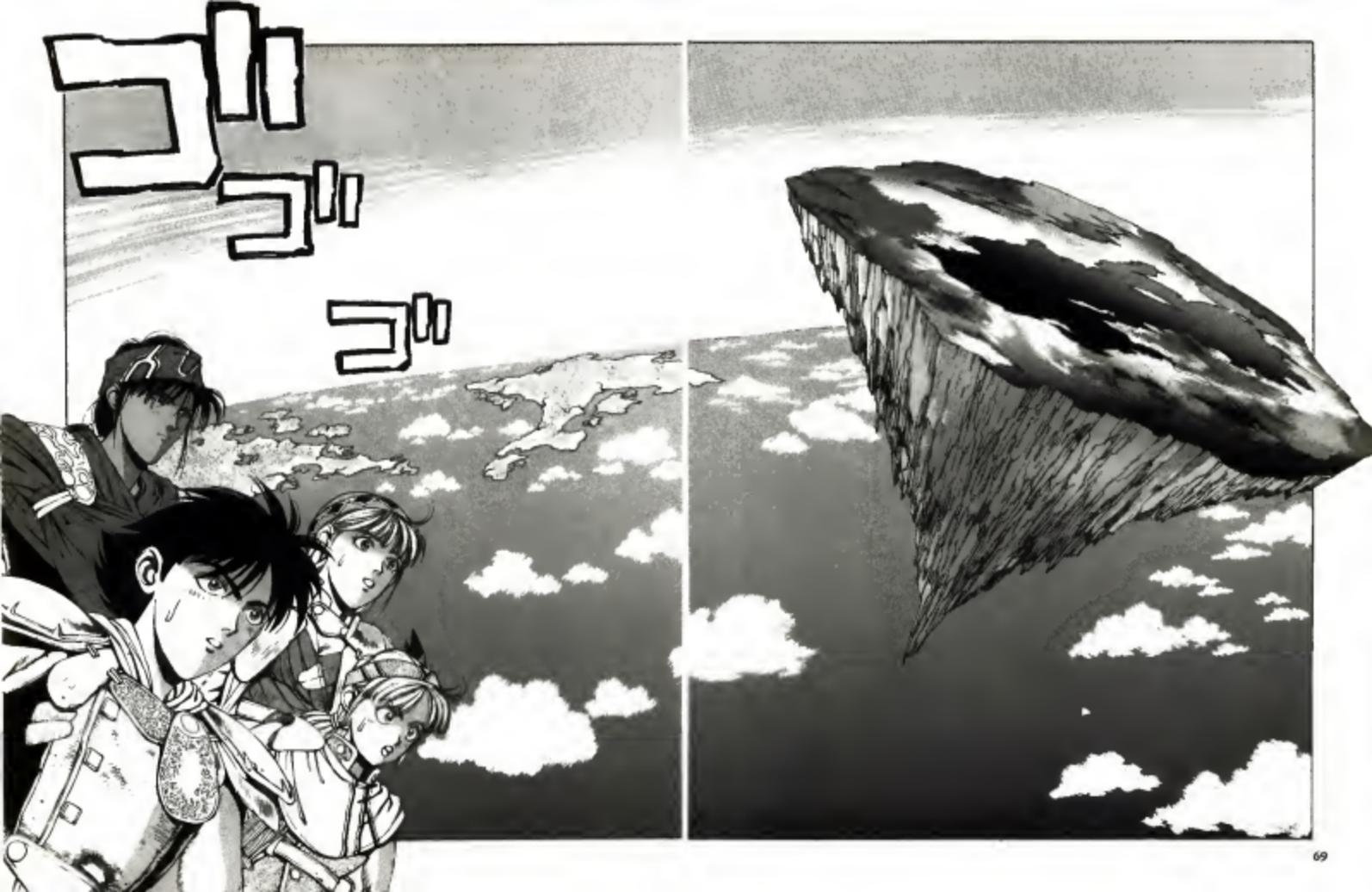
ぎゃ...

わッ

うラッ

な...  
なんだこの...  
画像は?







うわあッ!?

み…  
見たか…ッ

…  
今のは…!?

おッ…  
俺たちの世界の下に…  
ももッ…ももも…も

もう1つの世界が…

……ッ

そッ  
そんな…!?

ひょっとして…



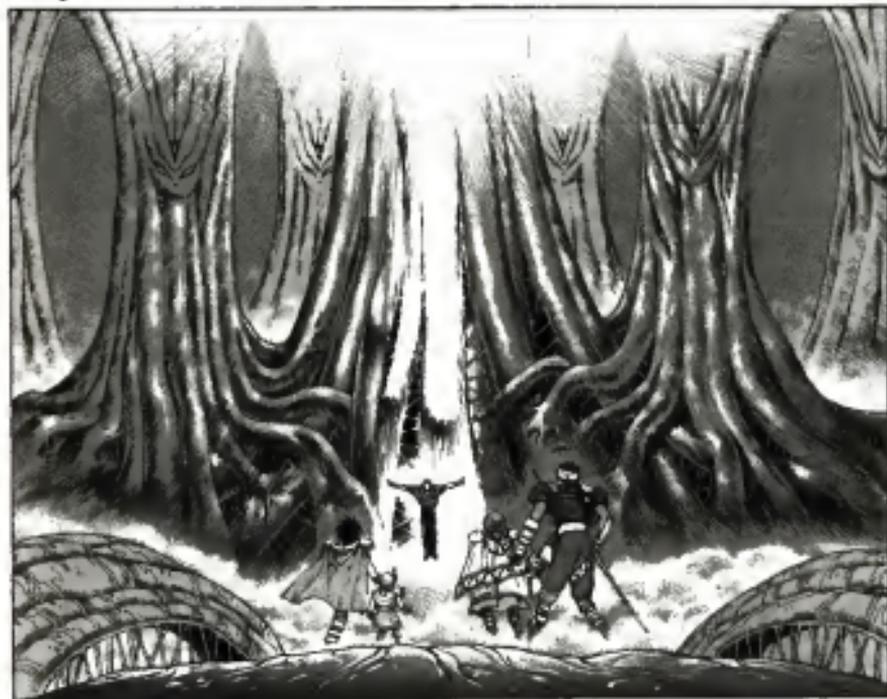


世界には  
〈災〉ありき…そして  
〈無限〉なり…!!

それ故に我等の  
〈風〉〈火〉〈水〉〈大地〉  
……その均衡を  
崩せし時……

世界は  
神もおそるる  
邪悪の闇に  
包まれるなり!!





デ...

ゴリ  
ゴリ

今のは一掃たち  
この風土  
〈古代人〉といわれる  
一族に伝わる秘だ  
悪い出したよ  
全て...

俺たちはこの  
〈風の大地〉の  
防人だったんだ

ゴリ  
ゴリ

デッシュ!

〈母なる大地〉は  
この下にある

ゴリ  
ゴリ



〈風〉は  
予期していたんだ...  
—世界の均衡が  
破壊される時を!

だからこの〈風の大地〉に  
人間を送り込んでいたんだ

お前たちは  
今こそ...

〈母なる大地〉に  
得らねばならない

ゴリ

ゴリ  
ゴリ



デッシュュ……

うわあッ!!

〈風〉! 〈風〉!!

〈風〉はいつでも  
お前たちの味方だ

〈風〉は  
いったい……

教えてくれ  
デッシュュ!?

しかし  
忘れるなムウチ!

悪魔は  
……

〈風〉のすき間を  
ぬうようにして  
忍び込んでくる  
ことを……



忘れるな…

アッ



行っち……  
まった……



デッシュ……

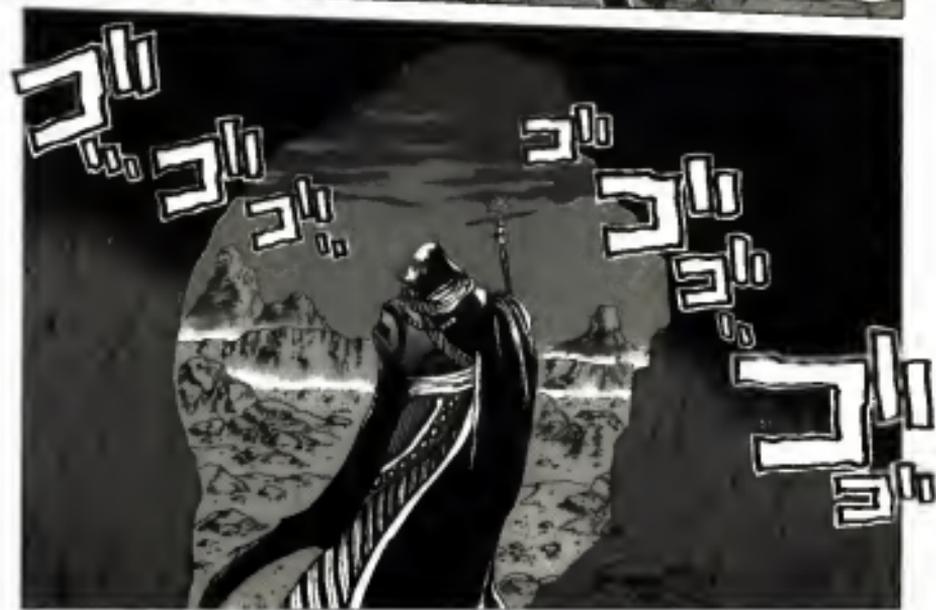


わッ

じょ…  
女王の樹が  
光に包まれて…

吸い込ま  
れる——ッ!!

わあああああッ!!





道ばれし騎士たちよ…  
悠久の時を越え  
（母なる大地）を  
前むがりたい……

願わくば……  
そなたたちの魂が  
この荒涼たる世界に  
打ちひしがれぬことを  
……祈る……

……祈る！









はは…

まいったね  
ホント…

そりゃ ま  
いいんだけど…

同じような  
仲間が集まってさ  
んでケンカしたりさ…  
過ごしてた世界が  
さア……

僕たちがよォ  
オギャ〜と  
生まれてきてさ…

ほんでもって  
親にや推されて  
ちまってよ…

あ——んな  
ちっぼけなもん  
だったなんてさ  
…ははは

笑っちゃうじゃ  
ねェか!

あっははは  
はははは

人間なんて  
さ…

はは  
……

は…

ちっぼけな  
もんだぜ…



お……



俺たちは

……

たしかに  
ちっぽけかも  
しれぬ……

けどよ……

どんなに  
ちっぽけな  
世界でもよ……

やうらの  
好きなようには  
させぬエ!!

きっちり  
おとし前だけは  
つけてやるぜ!!









行くぜ!!



くっくく...  
おなごもては  
ない...  
小僧ども!!



だッ...  
だれだ!!

お前らなに  
ザンテ達の  
封印が  
解けるものかい!!

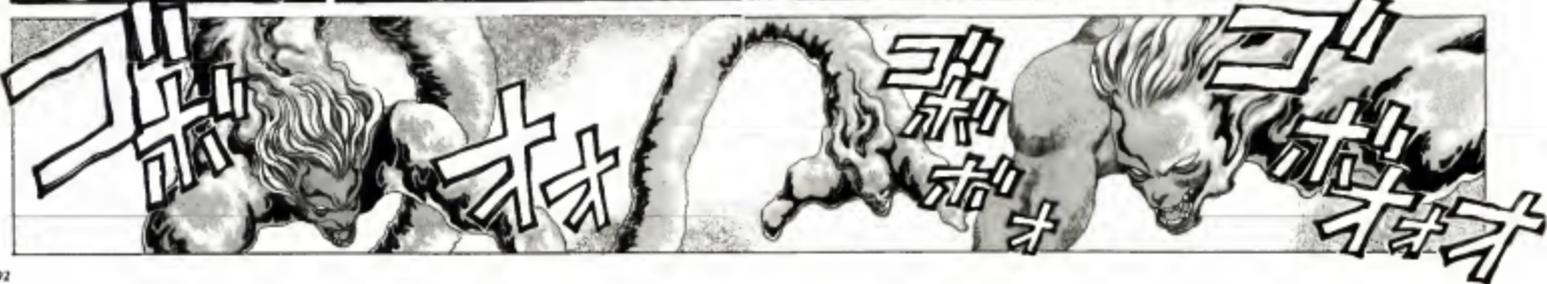


くっくくく

アッ

アッ

くま







長生きしたければ

この俺には  
近寄らぬ方が  
良かったな...

つあッ!!

久しぶりだぜ

こういうの  
って.....

コリッ

ひびくるるるっ!!

わわわわわ  
ポウイイ!!  
何のんびり  
してんだ  
よ!!

おっと  
そうだった

うひッ

ふんッ!!

きやあッ

あ……  
あの野郎オ  
無茶しやがって!













きゃッ!

俺の魔力の  
全てを  
くれてやる!

ただし...  
今度は  
1度にだ!



やっ...やめとけボウイ!!  
そいつはちっと  
危険すぎる賭けだぜ!!



せーの...

行けェ!!

ボ  
ッ

うわあ!

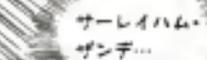
ぎやッ

ク  
ッ  
ク  
ッ

ク  
ッ  
ク  
ッ  
ク  
ッ  
ク  
ッ









ぐぎゃああ  
あああああ

お

な…  
何だ…!?

カッ





やっほー！  
見つけたぜ  
ムウチい！！



でかしたダダ！  
なかなかいいもんが  
そろってんじゃ  
ねーか！



ちよっと！  
勝手に持って  
きちゃって  
大丈夫！



いいさ！ あの…  
弄ったっけ？  
王手様ってのが  
何でも持ってって  
くれて…

おいボウイ！  
横取りは  
ずるいぜ！！

——だまれ  
こーいうのは  
俺にしか似合わん



よッ

お待たせ  
ははは  
王子様！  
へへッ

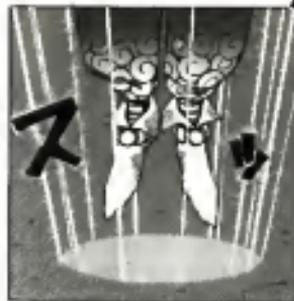


—やあ  
ちょうどいいのが  
あったようですね  
…良かった！

皆さん  
よくお似合  
いですよ









なんて  
きれいな…

でもPC悲しい  
カノ音色…

ALL  
私は  
ALL  
王子アルス…



ユウ魔道女ウネ殿の  
ユウ使いで  
ユウ夢った者……



そなたたちを

お待ちして  
おりました…





な…  
何だって…!?

それは  
突然にやっ  
てきました…

はじめ私たちは  
少しだけ大きな地震が  
襲ってきたのだと  
思っていたのです…

父はすぐに  
城の魔道士たちを  
呼び寄せ  
創造の神に祈りを

我らの大魂ソラドスを  
お救い下さい… そして  
我ら忠実なる民の迷える魂に  
安らぎを……

お望みとあらば

この王の全置を  
捧げますゆえ…



お…

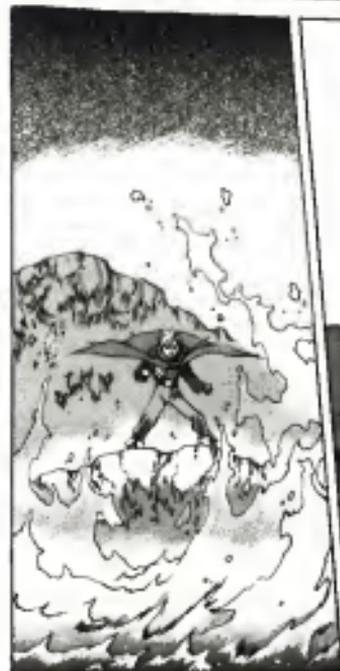
同じだわ…

私が聞いた  
重臣と……  
まるで同じ…!?

しかし異変は  
おさまることなく  
続き……

まるで悪魔を  
むき出しにした  
妖鬼のように  
我らの城を  
飲み込んで…







お……

同じじゃぬーか！

俺たちの……  
あそこに浮かぶ  
浮遊大陸に  
起こったことと！

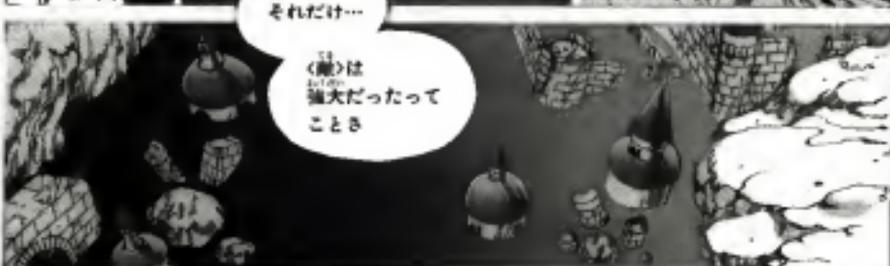
そっくり  
同じじゃ  
ぬーか!!

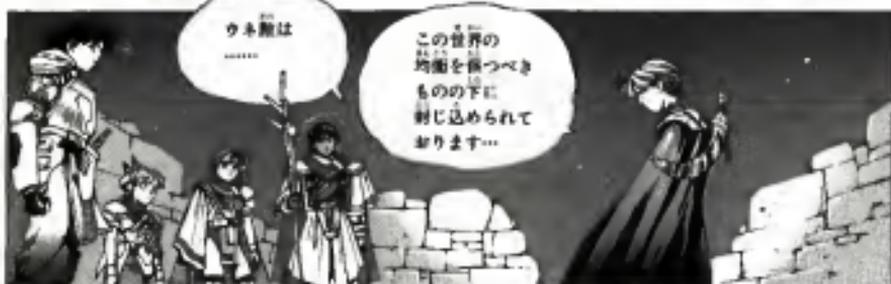


でもよ…  
どうして  
なんだ？

このアルス王子の  
身の上歌が何故  
メルフィがガキの時  
読んでもらった  
本の中に……？















なんだか…気のせいかな  
ここの空気  
すごく重苦しい気が  
するぜ…



そうね…  
まるで私たちが  
囿られている  
みたい……

何故か  
母親に  
そっぽを向かれた  
子どもみたいな  
気持ちだわ…



きゃあッ!?



メルフィ!!



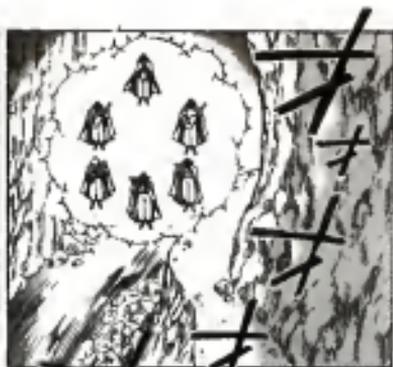
えッ!?



わたしは  
魔道女ウネの  
使い……

この呪いの  
魔の夢呪縛を  
唯一ふれた  
（夢手）に  
過ぎません…

ゆめ……  
こ…？



もうあなたたちが  
自力で進むのも  
ここまでが限度で  
しょう…

は  
突は…  
あなたがたは  
……

これまで私が  
ウネ殿に託った  
夢呪縛の魔力に  
精一杯抵抗してこられた  
のです…



ウネ姫は白魔術の究極の秘術  
(夢宇宙ノ界)を究めた魔法女  
……敵がその方を逆に  
夢呪神という白魔術で封じる  
からにはそれ相応の魔力を  
放たねばなりません



つまり  
このあたりには  
……

その魔力が  
充分してるって  
わけだ…

そうです  
ウネ殿は…

夢呪縛に落ちる  
寸前に…  
私に問いかけて  
きたのです

「そなた妻の  
〈夢子〉…」

「務めては  
くれぬか？」  
と…

かっ…  
風!!

〈風〉がもう  
もう時間が無いと  
告げています…

急ぎ  
ましょう!!

うわあ!!

きゃあ!!

い……  
急げたって  
……

どうすりや  
いいッ!?

ゴッゴッ  
ゴッゴッ



うわあ  
アッ!!

こっ…  
これは!?

俺たちを  
殺し去て  
たんだ!!

敵だ  
アッ!!

（夢子）は  
ウネ殿が放つ  
唯一の生氣!!

わたしがあの御人たちの  
縁に守られて  
動いている間は  
敵が襲ってくることは  
ありません…

しかし!

あなたたちのように  
（風）の意志を受けた  
戦士の息づかいが  
数立って弱になれば—

彼らは決して  
見逃すことは  
ないでしょう!

なるほど—あなたが  
多くを顧らなかったのは  
そのためか……

ウネ殿とかいう魔法使い  
から授かった力で  
俺たちの存在を敵に  
知られないように  
してくれてたってわけ  
か…!

何をやる気  
なんだ  
アルス王子…

あんた  
……

—この世から  
消えちまいそうな  
願してるぜ!



きやあッ

ちきしょう!!

「（涙）に選ばれし  
戦士たちよ…」

「私はどうせ  
水の中に  
命を埋めた身…」

「今こそ『夢子』としての  
務め！  
この命をかけて  
はたさせて頂く!!」

「さあ騎人たちよ！  
風の戦士に  
扉を開け!!」





あ…あの  
巨大な水柱は  
……!?

わ





水…!?

アルス王子  
は…

水柱の…  
中なのか…!?

いや…  
王子はいる  
……

ご心配には  
およびませぬ…  
これより敵の放った  
夢呪縛の…

いないわ…  
騎士たちも  
……

たったひとつの  
すき處を  
抜けます……

すき…間  
…!?

〈夢子〉である  
私の使命とは…  
私の〈存在〉そのものを  
貴方たちに重ね合わせる  
ことなのです!

そ…  
そんなことを  
したら

—王子は  
……

消滅する!!

そんな…

いけないわ  
王子!!

シッ…下を  
見ろォ!!

ク…  
クリスタル!!





なッ  
何だァ!?

ゴッゴッゴッ

魔力が  
回復してゆくのを  
感じるぞォ!!

いやはアッ!  
ついに  
解放された  
かッ!!

そうとなれば  
いつまでもこんな  
老いぼれた肉体で  
いることはない

わあッ!?



いかにも…  
私は魔道女ウネ!

ア…  
アルス  
王子…?

およしなさい!!

死者を… 2度も起こすような  
ことをしてはならないわ

しっ…  
死者…?

2度…!?

—私は…  
「夢呪師」の中に  
落ちていながら  
暗黒の中に王子の迷える魂を  
見つけ…

そして  
乞うたのです…  
…

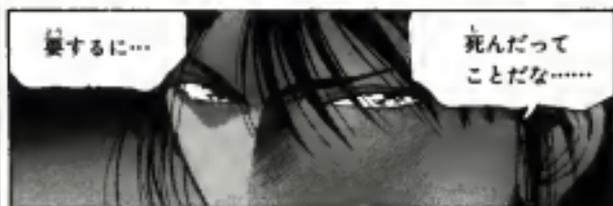
ゆ…  
「夢子」に  
なることを…

—そう

——それが唯一  
夢呪縛にすぎ間を  
作る手段だった……

私は王子の身に  
私の生気の全てを  
吹き込んでから……  
自らを深い眠りの中に  
送ったのです





ならば  
夢の無い眠りを  
差し上げることこそ…

王子の  
憎しみに影られた魂には  
例よりの安らぎとなると  
…私は思うわ……

ズッ……



右耳の赤い宝石は  
夢子となる契約の  
証し……

もう  
これも…

必要ないわね  
……





あのディッシュ  
だって……  
狂だって…

古代人の家えいで  
僕たちに送る大地が  
あることを知らせるために  
生きてきたんじゃないか？  
か？

そ…  
そういえば…

確かに…

アルス王子の身に  
降りかかったことが  
私が怖い漢  
彼んでもらった家園の  
内容と一緒だった  
ことも…

すべては(風)が…  
とうの昔に予期したこと！

ええッ!?

しかし…(風)にしても  
この私にしても…  
それを防ぐことが  
できなかった…

(風の送りし騎士)たち  
よくここまで捜し当てて  
来てくれたわね…  
感謝してるわ!



か……<sup>ワカ</sup>風<sup>の</sup>の……  
送りし……<sup>ワカ</sup>戦士<sup>1</sup>!?



<sup>ワカ</sup>悠久<sup>の</sup>昔  
風<sup>は</sup>きたるべき  
ことを<sup>ワカ</sup>感じ……

あなたたちの  
生まれ育ったあの  
異世界を作ったの



それでか……

メルフィが  
未来の物語を  
知っていたのは……



魔道女ウネ  
……

聞かせてもらおう  
じゃねえか……  
あんたと<sup>ワカ</sup>風<sup>が</sup>  
知ってること……

そして……

〈風〉が今  
どこにいるのかって  
ことをだ!!

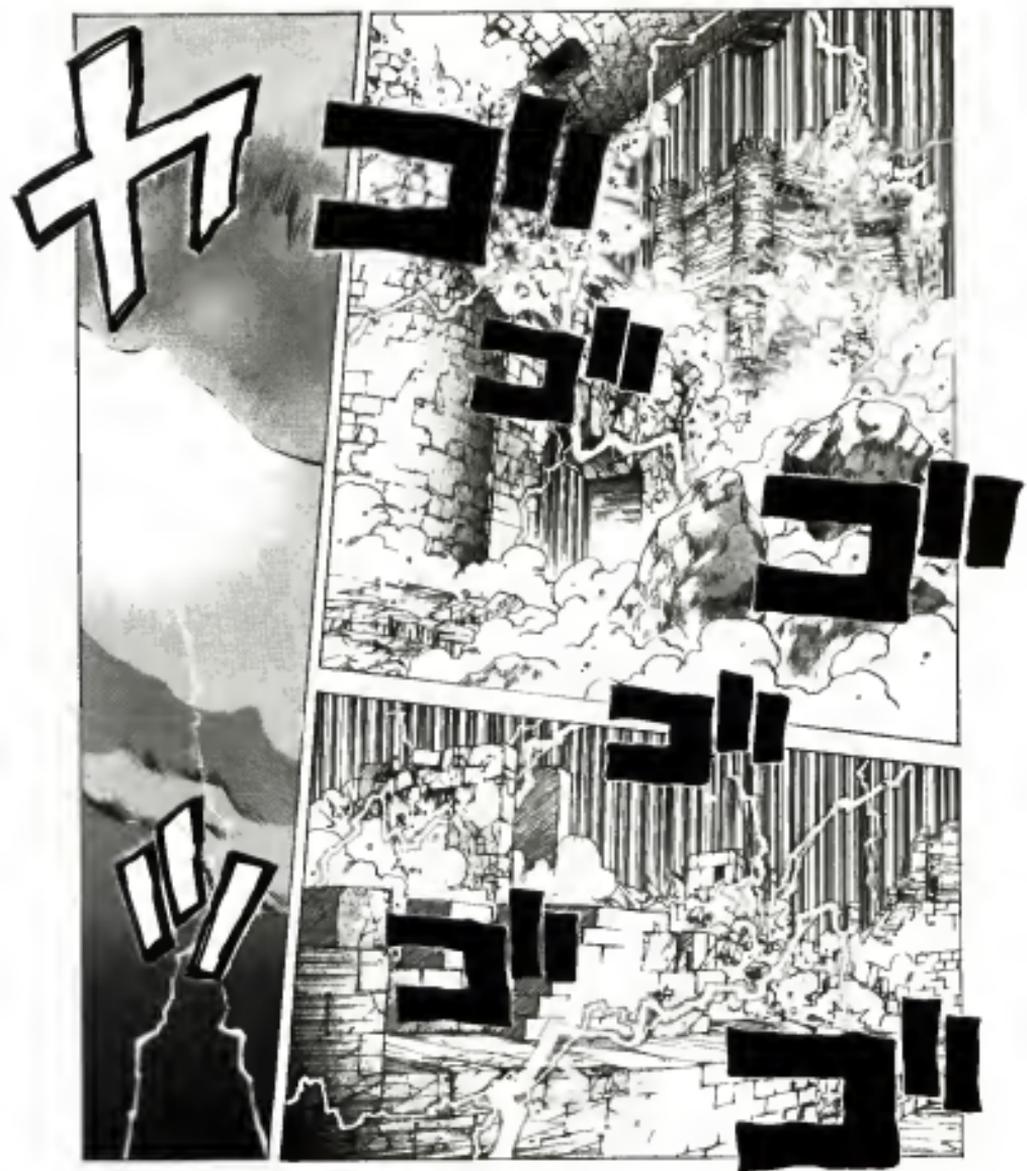
〈風〉の名は  
...

ゴルドーガ!!

—もちろん  
だわ……

〈風〉は

それをあなたたちに  
知らせるために…  
この私を夢から  
覚まさせたのだから  
……





ウネよ…

時は来たり!!

時は



来たり





おおおお  
おおおお!!

「じつはく邪悪」  
めがッ!!

このドーガの  
けいせい結界を……ッ  
やぶ破りおったかあ  
!!!



ここまで  
か……ッ

げんがい限界なのか  
……  
ウネよ!?



ドーガ!?



ど…  
どうしたんだ!?

「彼」が...

全てを知って  
しまったわ...

彼!?

〈風〉か  
.....!?

そのドーガって  
男のことなのか!?

—違うわ...

ドーガと私を  
憎み...

そして...

〈闇に憧むものたち〉  
と結託した男の  
ことよ.....



—やがて肉を剥き  
血の渦巻く戦いの中に  
その身を投じねば  
ならぬ…

よいか…

記憶しておく  
ことだ

人を  
慈しむことが  
…

実は邪悪なもの  
のつけいる種を  
作ることなのだ!!

ひ……  
人を……

慈しむ…



4人はウネの術の中にいた…  
ウネは夢を可る魔法女  
—彼女は彼らの記憶の断片を  
握り起こすようにして  
彼らの魂に近付いていった

…何故なら 彼女は  
〈魂〉の選んだ戦士に  
行よりの武器となる「影への情しみ」を  
植えつけなければならなかったのだ





こ…  
ここは…!!

古代妖夢紀  
新造の神の化身と噂された  
超魔導師ノアという人物が  
いた…



彼は全世界を一瞬にして  
破壊できる方だ…また同時に  
一瞬にして掃めふれる大地に  
再生することもできるという  
まさに(神の魔力)を持っていた

だが…  
数世紀にわたって  
生き延びる術を持たずにしても  
やがて生命の継承を  
迎える時が来た……!

彼は高卒の2人を  
臨終の床に呼びつけると  
静かに言った……



〈風〉よ そなたには  
……  
すべての  
我が黒魔術を



そして〈夢〉よ  
そなたには……  
すべての白魔術を  
託すぞ



だが…

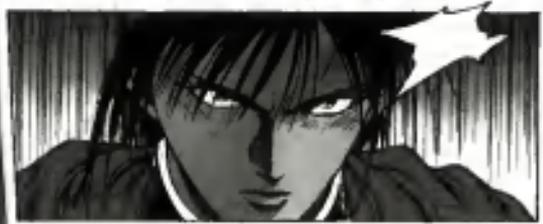
超魔道士ノアは  
その数世紀に渡る生涯を閉じる時  
あるひとつの過ちを犯したのだ



たしかに、ドーガとウネは  
ノアの魔力をふたつに分けて  
神に合うのに十分な  
知力と統率力を神らえていた







地獄の底に  
叩き落としやがった  
奴なのかッ!!

そうよ…

戦士たち!

親こそは…

〈大地のクリスタル〉を  
邪悪に動かしたしもの…

〈大地のクリスタル〉を  
邪悪に動かしたしもの!?

ガンデ!!





うおおお  
おああッ!!

ゴッゴッゴッゴッ

おああ

風!!

いまは  
今行くわ

.....

——風!!

ウ...  
ウネさん...

メルフィ.....



あなたも  
いつか知るわ…

人を  
愛すること…  
それが…

自分の血肉を  
切り削ぐことにも  
なるんだって……



そ…  
それは  
つまり…



—つまり  
こういうことさ

ポウイ!



白魔術を究めた  
あんたと…  
黒魔術のすべてを  
究めた(風)の…

互いに求めあい  
引き合う  
心の痛みを…



—奴!

ザンデが!

邪術をもって…  
ずたずたに  
切り裂こうと  
したってことだ!



あ……

ドーガの黒魔術は  
新しい継承者を  
得たようね

どうやら…



あなたの  
言うとおりよ…

そして事実…

我らの術は  
ザンデによって  
封じ込まれた



な…  
何だって!?

人を求め受ける  
瞬間…

それを  
……

われらの領ノアは  
〈空自の泉〉と  
いった…

——つまり  
人間である以上  
どのような  
修業人であっても



この(空白の奥)  
という心のすき間に  
落ちた時には  
もろくはかないもの  
だと…



変する…  
瞬間は…

もろくはかない  
……



ちっ…  
ウネさんよ!

後にヤピンとくる  
願じゃぬエが…

とにかくその  
ザンデってエ野郎は  
かつての兄弟子たちの  
頼みを実いて…  
あんたらを陥れたって  
こったろう?

汚ねエ娘だ!  
人間のやることじゃ  
ぬエゼ!!







わあッ!?



ウネ!!



ドーガ!!







か…<sup>風</sup>か？  
あ…あれが  
……

私<sup>を</sup>たちを…  
ここまで引き寄せて  
きた…<sup>風</sup>!?



〈風の運びし戦士〉

よ…

いかにも  
私<sup>が</sup>…  
ドーガだ！



だがこの私<sup>と</sup>して  
ただ〈風〉の意志を  
聞き止めてきただけ  
に過ぎん



か…<sup>風</sup>の…  
意志…!?

すなわち  
この世界の均衡を  
保つべき  
4つのクリスタル…  
そのひとつである  
〈風のクリスタル〉  
のな…

我らの  
できることのすべては  
もはや  
ここまでだ

奴に  
我らの術のほとんどを  
封じられた時  
すでに…

我らは世界の邪悪に  
抗するだけの力を  
奪われていたのだ…

—悠久の時を越え  
〈風のクリスタル〉が  
われらに届った  
ことがある…

そなたたちは  
けっして神ではない  
…人を慈しむ…  
笑める…  
弱き者たちなり…

—ならばそれを  
武器とすべきだと！  
そして今こそ  
その武器を  
お前たちに  
受け継いで  
もらいたい！！



〈風の戦士〉たちよ



あとを...



あとを  
たのんだぞ!!



あ…あッ  
……



あいつ…  
あいつが…ッ!!



——ザンデ!



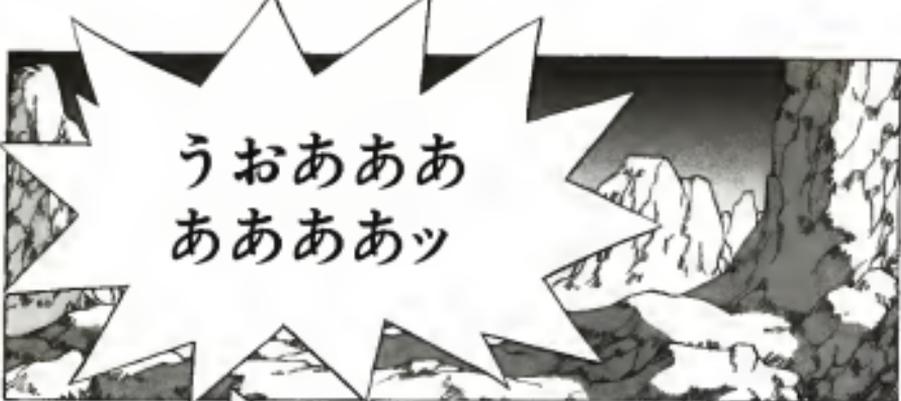


おッ…  
おい!

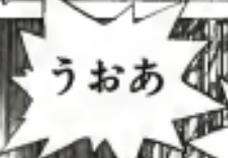
ムウチ!?



うああお  
おおおお  
おおッ!!



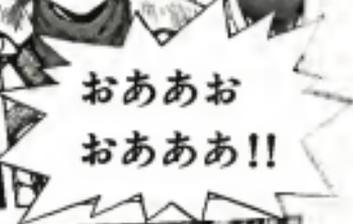
うおあああ  
ああああッ



うおあ



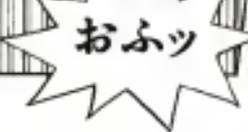
あおオ



おああお  
おあああ!!



あオ



おふッ



ム...

ムウチ!  
どうしたってんだ  
ムウチ!!

何が見える??  
怖いのか??  
いったい何が  
見えてるんだよ  
ムウチ!!

ムウ...

ええ?  
ムウチ!!







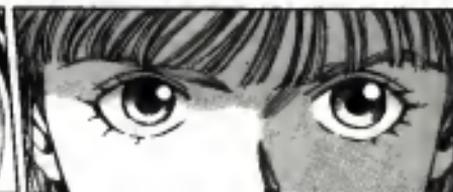
とにかく今ムウチは  
戦える状態じゃない  
俺たちだけで  
やるぜ!!

おう!!

わたし



ここで  
ムウチを守って  
みせるわ  
——必ず!







——ザコは  
ひっこんでな

ひゅるる  
ひゅるる



おもしろいじゃ  
ないの……

どんどん…

かかって  
来なさいッ!





影久の時を越え  
風のクリスタルが  
我らに留った  
ことがある…

そなたたちは  
けって神では  
ない……

人を慕しむ…  
求める…  
弱き者たちなり



ならばそれを  
……  
武器とすべき  
だと！



武器と  
すべきだ  
と!!



ギギ



すげえや  
J・ボウイ!  
メルフィ!!



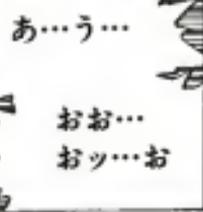
.....



まるで《風》とく《夢》  
...あのふたりの力が  
乗り移ったみてえだ!!



自つぶし





その時ムウナは  
何かの強烈な(力)によって  
かつて感じたことのない  
恐怖の姿形へと変わって  
いた…

まっ……  
魔界…!?



ゴゴゴ

ゴゴゴ

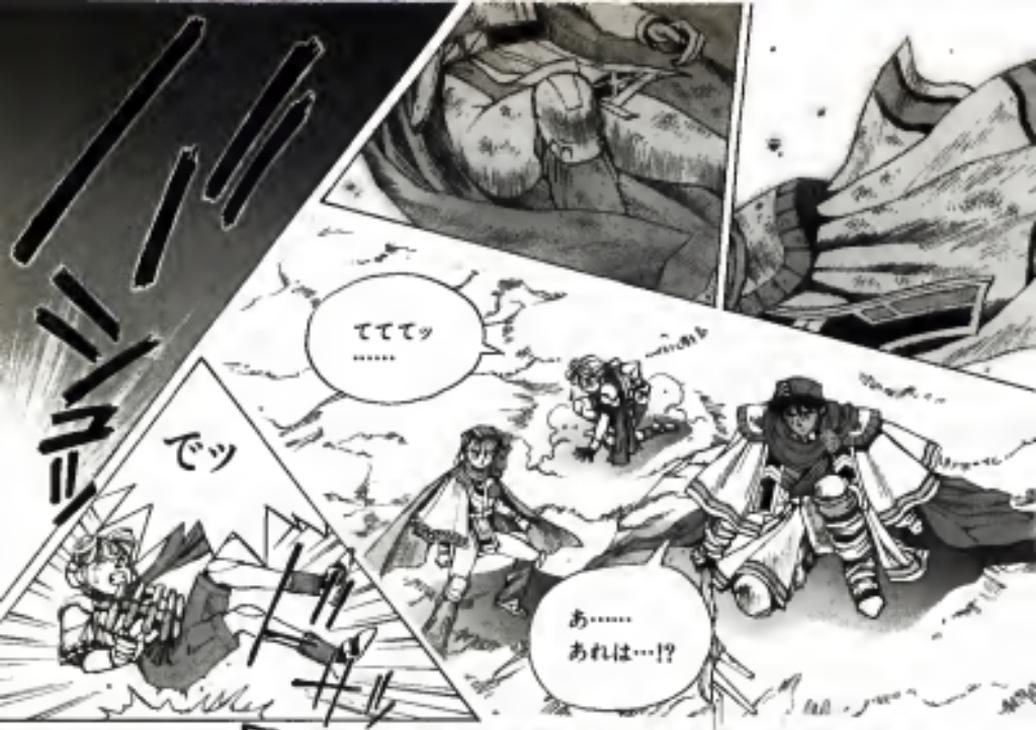
ゴゴゴ

ゴゴゴ

ああああ  
ああああッ

まッ…魔術をッ  
……  
封じ込めようと  
してやがる…ッ!!

そッ…  
そんなあ…  
ッ!!







ム…  
ムウチ  
…!?



ど…どわおお  
おおおおッ

おのれ…ッ  
ミヴァ…  
イフリート!!



見させて  
もらったぜ  
.....

地獄をよ!



じっ...  
地獄...!?



魔界だ  
.....

死神の世界だ!!

邪気と怨念の  
渦巻く.....



引き裂け!

——召喚魔術だ

引き裂くん  
だ!!

ゴ!!  
ゴ!!

え?

ムウチ…  
どうやらお前…  
召喚魔術を  
手に入れたよう  
だな…

——ああ  
……

ぐわおお  
おおおっ!!

— よおし  
シヴァ!!

そいつを  
凍らせち  
まえ!!

おおおッ…  
おのれえ  
シヴァ!!

— 分かんねエ

なぜ俺がこの魔術を  
手に入れたのか…



けど多分  
級に…

このザンダの野郎に  
やられちまった  
(風)と(夢)の2人が…



もちょっとバシッと  
しろって…  
ヤワじゃねに  
かないっこねムんだ  
…って



この俺に  
地獄を見させやがっ  
たんだと…思う!



うん…  
そう…



そうだね  
……



そうだと…  
思う…

——なんだかとても  
泣きたい気持ちになった…



涙でにじんだ  
ムウチの横顔が  
少したけ……

“愛する機関は  
もろくはない”  
……



少したけ  
大人びて見えな

だけど  
だからといって  
邪悪に負けちゃ  
いけないんだ!!



ぐおおあ  
ああおおッ

ムッ…  
ムウチ!?







ふふははは  
はははは  
おろかなもの  
たちよ…

世界そのものである  
我に…  
何を刻めるそ  
うのだ!!





うわあッ!!



ぐざいい  
いい…ッ



こ…  
これまで  
かッ…!!



うらッ…!!





ム……  
ムウチ…



この時メルフィは  
これまで張り詰めてきた<sup>気持ち</sup>が  
急激に失せていく<sup>感覚</sup>に  
とらわれていた…



——はじめての<sup>感覚</sup>だった…  
だが、その<sup>感覚</sup>が  
いつ穿ばえたものなのか  
彼女は、はっきりと<sup>自覚</sup>して  
いたのだった

あの時ほど…恐怖に怯えたムウチを  
見たことがなかった……  
そしてあの時のムウチほど  
自分の奥底にまで入り込んでくる存在は  
かつて出会ったことがなかったのだ……



こ…これが…  
〈空白の家〉  
………!?



ぐわああ  
あああッ!!

あ…ッ  
あれは!?





〈風〉!?

あ……  
あれは…!?

〈夢〉!?

ふッ…2人が  
私たちを攻撃して  
くるなんて……  
そんな…バカな!!

〈風〉…〈夢〉…  
2人が再び一緒になる時  
…それはザンダの前で  
全ての力を失うことを  
意味していたのか!!

そ…それじゃ  
ザンダに  
捕つられて…!?



ち…そうかい…  
分かったぜ  
〈風〉…〈夢〉…!!

ザンダを倒すにや…  
まずあんたたちを…  
乗り越えなきゃ…  
倒さなきゃいけぬん  
だな…  
だからこの俺に…

こんな邪術を  
与えたッ!!





ごあああ  
あおおおッ

何てことするんだ  
ムウチ!!  
あの2人に魔人を  
差し向けるなんてッ!!



しょうがねエ  
だろうが  
バッキヤ  
ロオ!!



あの2人は  
こうなることを  
知ってた……

自分で  
望んだんだ!!



強くなれねエで  
どオすんだよオ!!!

愛を武器と  
するにはよォ…  
心が…うんと  
タフじゃなきや  
いけぬォ…

そう言っ  
てあの2人は…

命がけて俺たちに  
ハツバかけ  
てんだぜ!!

生きなきや  
な……  
俺たち…

うん  
……

この世界に  
大明なもの…  
いっぱいある  
もの!

うん!  
生きなきや!

めいっぱい  
強く!

いくゼエ  
ザンデ!!

うおおお  
おおおッ!!



きやあッ

わッ!?







ムウチ!

ポウイ!!

あ…あやうく  
ムウチを異空間に  
飛ばされちまう  
とこだったぜ…

とっさに絶壁張って  
防いだはいいが…  
このザマさ…  
ちきしょう…

ふ。は。は。…  
ふ。ふ。は。は。は。は。

ふ。ふ。ふ。は。は。は。  
は。は。は。は。は。は。  
は。は。は。は。は。は。!!

ちきらめろ!

お前たちに  
勝利はない!!

ふはははは  
ははははは  
.....

ち...  
ちき...しょおツ  
.....

いいわ!!  
来なさい!!

私たちは  
決して逃げやしない!  
逃げる場所なんて  
どこにもない!!



ふ、ふ、ふ、はは  
ははははは  
ははははは



キッ!



かけがえのない  
この世界を

守って  
みせる!!



逃げない  
かわり……

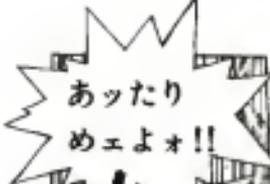
あなたも  
逃がさない  
わよ…



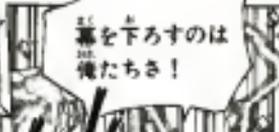
そっ…  
そうさ…

逃がしや  
しねェ!!

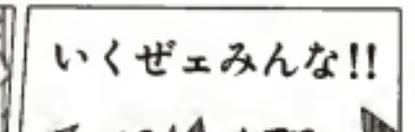




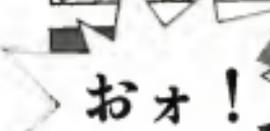
あつたり  
めえよオ!!



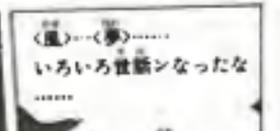
幕を下ろすのは  
俺たちさ!



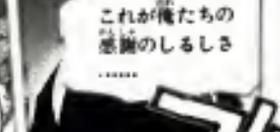
いくぜみんな!!



おオ!



〈風〉……〈夢〉……  
いろいろ世筋ンなったな  
……



これが俺たちの  
恋劇のしるしさ  
……





ふふははは  
言ったはずだぞ  
……

そ…  
そんな……

ヘッもう  
ひとかけらの力も  
残っちゃいないぜ  
……

は

は

は

は

は

ちッ…きしょお  
まだだッ…

俺たちまだ…  
生きてるんだッ…

ひ——ッ  
ははははははは  
ははははははは!!

無だ!!  
無だ!!  
無だ!!

お前たちに  
勝利はない!!

無だ!!

カッ

全てを  
無にする  
のだッ!!







小僧どもめ…

とうとう  
やりおったわい  
……



最高の  
小僧どもじゃ

わっはははは  
ははははは!!

浮遊大陸は母なる大地へと帰  
りがて世界は  
もとの均衡を取り戻した…



行くのか

ん……

そうか…



——じゃあ  
またね……  
みんな！



バイバイ



メルフィ……

き——て  
……と！



ここで  
ひとまず俺たち  
も……

かな？



——同意だ  
俺は西へ行く

ええッ？  
ちょ…  
ちょっと…

じゃ俺は  
東だ

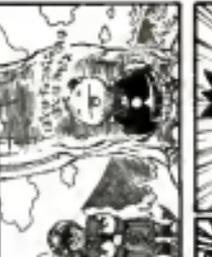
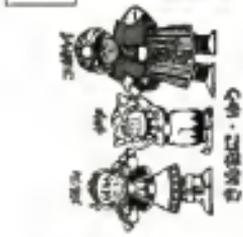








完





原作——寺田憲史 KENJI TERADA  
 作画——衣谷 遼 YU KINUTANI  
 設定協力——藤岡一巳 KAZUHI FUJITA  
 スタッフ——伊谷野隆 TAKASHI HOYANO  
 松浦まさみ MASAEMI MATSUJIRA  
 宇藤寅伸幸 NOBUYUKI UTSUNOMIYA  
 大野富都 SHIRO ŌNO  
 松岡英樹 HIDEKI MATSUOKA  
 矢上 裕 YŪ YAGAMI  
 小野広通 HIROKI ONO  
 鈴木成明 NARUKI SUZUKI  
 編者——甲田秀明 HISAKI KŌJIMA  
 原稿正人 MASAHITO HANE

ドラゴンクエスト



# 悠久の風伝説 3

ファイナルファンタジーより

悠久の風伝説3ファイナルファンタジーより

原稿——寺田憲史  
 作画——衣谷遼

1987年4月10日 初版発行

発行所——角川春樹  
 発行所——株式会社角川書店



〒102 東京都千代田区富士見2 13-3  
 電話03-3847-8321(営業) 03-3228-1731(編集)  
 発行1冊 定価210円

装幀——朝倉哲也+design CREST  
 印刷・製本——大日本印刷株式会社  
 ©KENJI TERADA/YŪ KINUTANI/1986株式会社角川書店  
 無断複製・複製

規格/ISBNスーパーファミコン(1986年3月)・1986年3月  
 定価210円(税別)1冊1冊

ISBN4-04-926037-9 C0379  
 Printed in Japan